

創業 86 年。

社名の「ストック」とは、木の"幹""台"、
そして商品の"貯え"などを意味している。

株式会社ストック小島が扱う天然皮革は、
まさに商品の経済活動の源泉である基礎素材。

ものづくりの根底を支え続け、
時代を見つめてきた老舗カンパニーである。

TUF

TOKYO LEATHER FAIR

Interview,9

株式会社ストック小島 阿部 雅由

牛革、馬革、ひつじやオーストリッチ、爬虫類系まで幅広く取り扱っていらっしゃるのが印象的ですね。一貫しているテーマなどがありますか？

ずっと変わらずにコンセプトとしているのは「皮らしい革」です。求められるものは時代と共に変わりますが、「皮らしい革」をご提案することは変わらず大事にしています。発色を優先すると、皮らしさが失われていきますが、そこを職人さんの技術に支えて頂いています。



御社に求められていることは何だと思えますか？

安定と安心ですね。クオリティも、ワンランク上のクオリティを求められていると感じます。また、そのクオリティを長期継続して保持していくこと。また、ひとつとして同じ商品がない為、アフターケアなども大切にしています。

ジャパンレザーの魅力を発信していく時に、やはり日本はクオリティの高さが注目されますが、それと同時に大事なことは何だと思えますか？

ジャパンレザーのクオリティが高いことは確かです。日本人特有のきめ細やかさや、“人間性”が出ているなど感じます。イタリアのレザーも素晴らしいですが、どちらがいいとかではなく、ジャパンレザーももっと国外で取り扱ってもらえる機会を作るべきです。それは業界全体で取り組んでいくことですね。

今後、どのようにして海外に出て行くかは課題ですね。

そうですね。日本にレザーがあること事態あまり知られていないのかもしれませんが。ジャパンレザーをどう世界に発信していくか、それは今後の課題でもあり自分自身、注目していくことです。